

平成29年度 職員のワーク&ライフ・サポートプログラム

実施状況報告

～第二次・次世代育成支援のための大田区特定事業主行動計画～

平成30年6月

大 田 区

1 目的

平成27年5月に策定した「職員のワーク&ライフ・サポートプログラムー第二次・次世代育成支援のための大田区特定事業主行動計画（前期）ー」の着実な実施に役立てるため、本計画における平成29年度の取組み状況を報告します。

2 取組み状況

（1）プログラムの周知

区ホームページ及び区職員向けグループウェアに掲載し周知を図っています。

（2）各種制度の周知

母体保護、育児休業、介護休暇、休暇、超過勤務の制限など各種制度を「サービス等の手引き」や「職員のためのワーク&ライフサポートハンドブック」等を区職員向けグループウェアに掲載することにより周知を図っています。

（3）職員配置等に関する配慮

職員の育児・介護等に配慮した配置管理を行っています。

また、昇任選考の実施時に一時保育を実施しています（平成29年度の実績はなし）。

3 取得状況等

(1) 出産、育児に関する休暇等取得状況（平成 29 年度）

休暇等の種類	女性	男性	合計
育児休業（取得率）	48名(100.0%) [45名(100.0%)]	5名(9.4%) [5名(11.6%)]	53名(52.5%) [50名(56.8%)]
育児短時間勤務	1名 [2名]	0名 [0名]	1名 [2名]
部分休業	72名 [26名]	5名 [4名]	77名 [30名]
育児時間	24名 [13名]	5名 [3名]	29名 [16名]
子の看護のための 休暇	180名 [171名]	183名 [193名]	363名 [364名]
出産支援休暇		44名 [32名]	44名 [32名]
育児参加休暇		32名 [20名]	32名 [20名]
男性職員が、子の出生時に5日間以上の連続休暇を取得（取得率）		19名(35.8%) [14名(32.6%)]	19名(35.8%) [14名(32.6%)]

※下段[]内の数字は前年度の取得状況です。

本プログラムでは、次の数値目標を設定しています。

① 女性職員の育児休業の取得率

平成 21 年度から平成 25 年度の平均の取得率（99.1%）の維持・向上を目標とする。

② 男性職員の育児休業の取得率

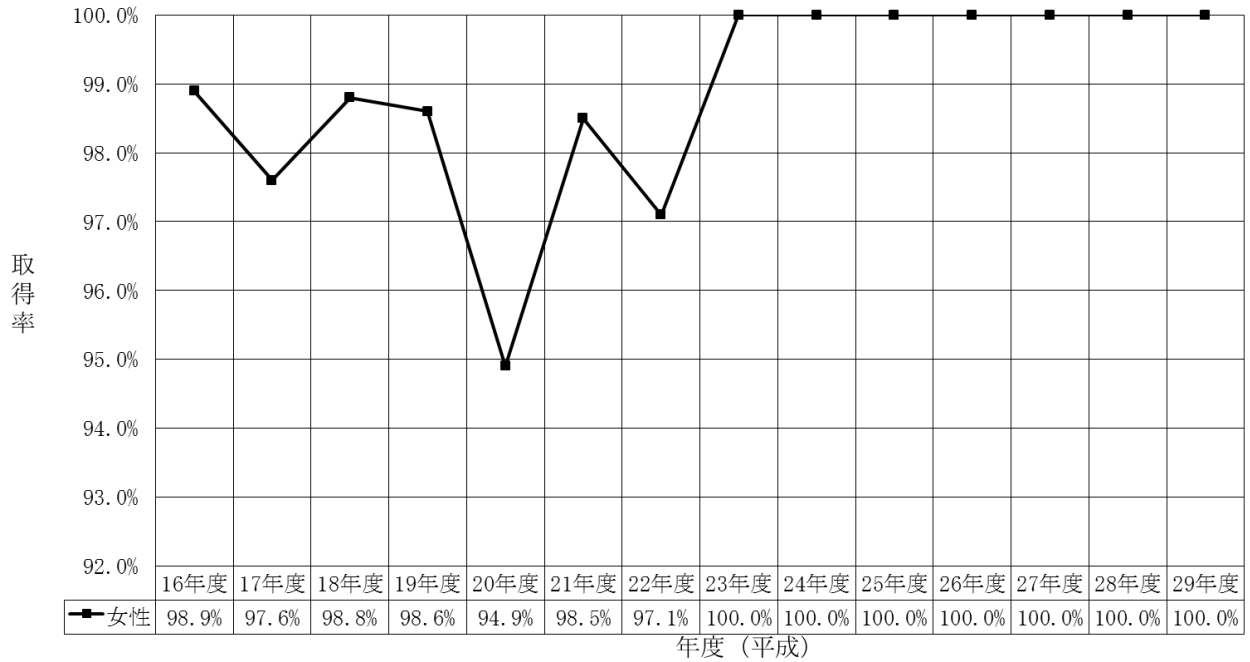
平成 31 年度までに 10%を目標とする。

③ 男性職員の子の出生時の 5 日間以上の連続休暇の取得率

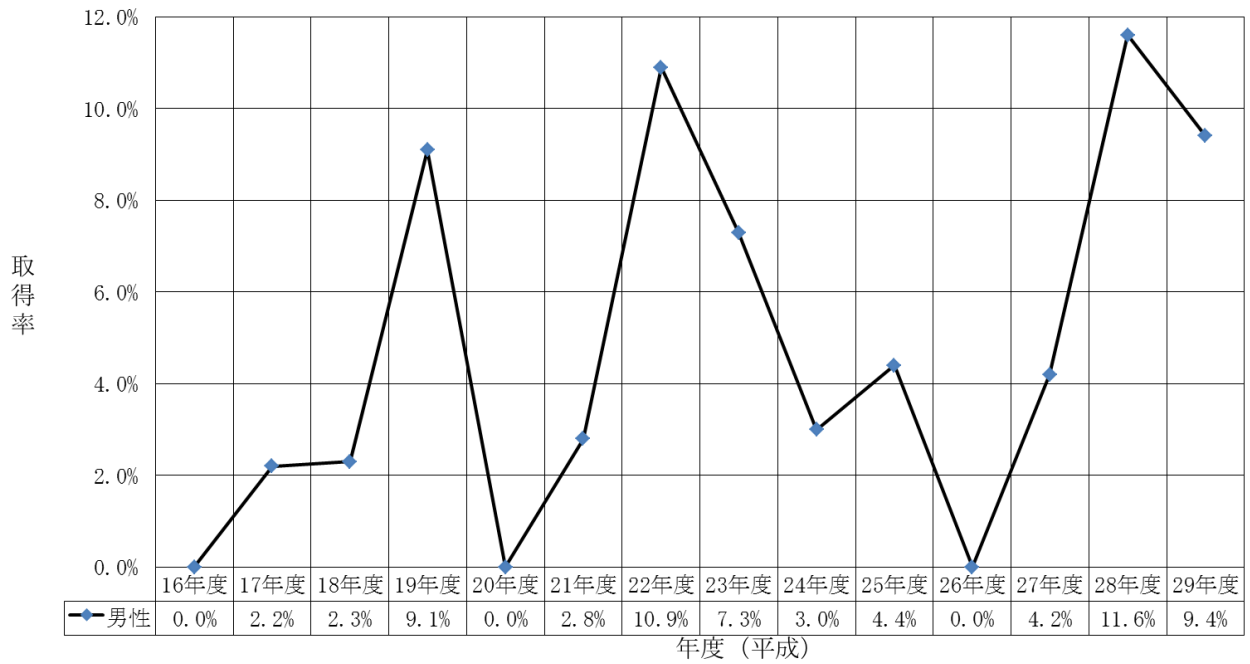
平成 31 年度までに 50%を目標とする。

(2) 育児休業の取得率の推移 (常勤職員・男女別)

女性職員



男性職員



(3) 介護に関する休暇等取得状況（平成 29 年度）

休暇等の種類	女性	男性	合計
介護休暇	2名 [7名]	5名 [1名]	7名 [8名]

※下段[]内の数字は前年度の取得状況です。

(4) 年次有給休暇の取得状況（平成 29 年度）

休暇等の種類	取得日数
年次有給休暇	15.5日 [15.4日]

※下段[]内の数字は前年度の取得状況です。

(5) 健康診断等の受診状況（平成 29 年度）

内 容	受診率	備考
健康診断	91.9% [92.7%]	
人間ドック	4.6% [4.6%]	人間ドック等を受診し、健康診断を受診しなかった者
合 計	96.5% [97.3%]	

※下段[]内の数字は前年度の受診状況です。